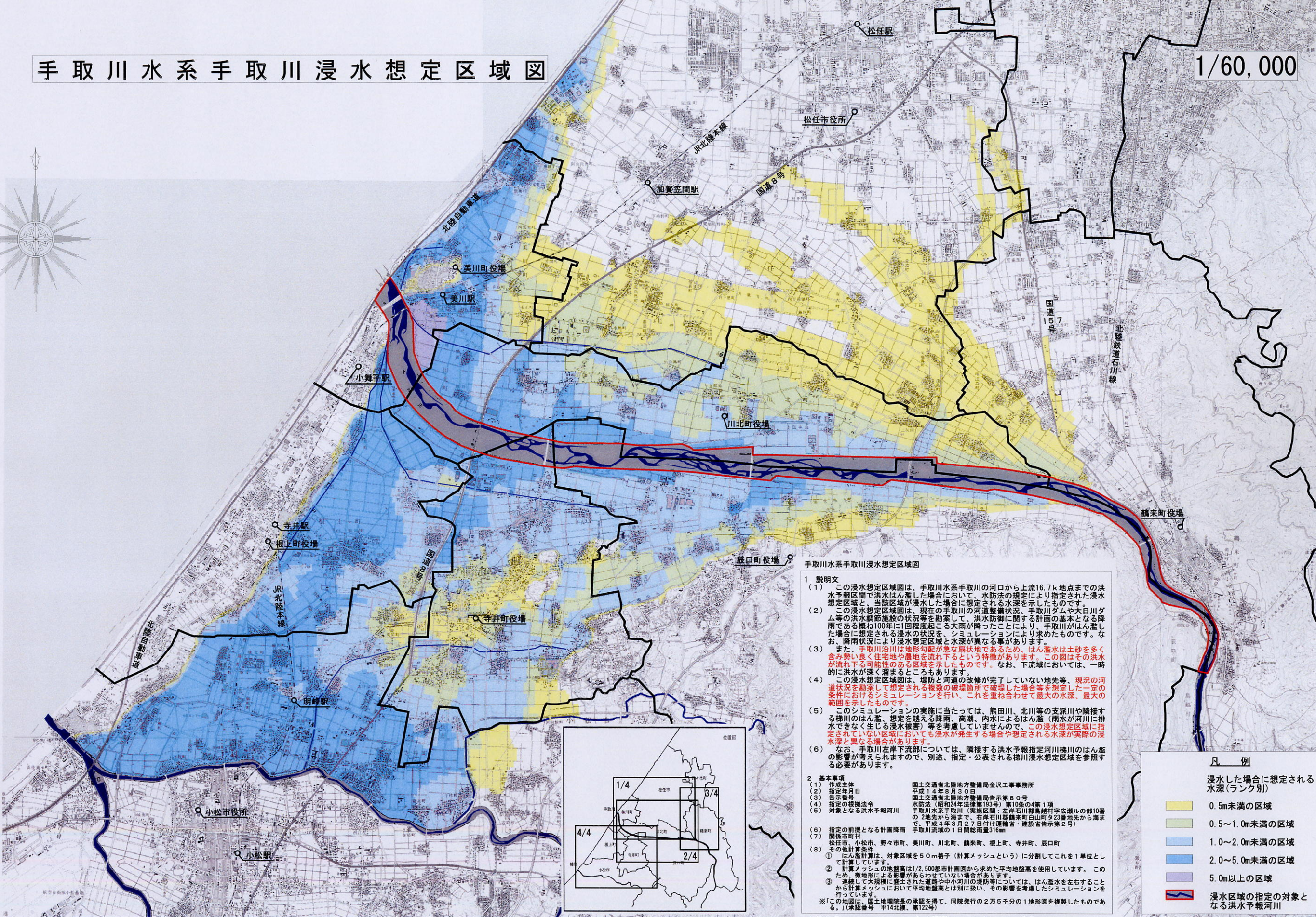
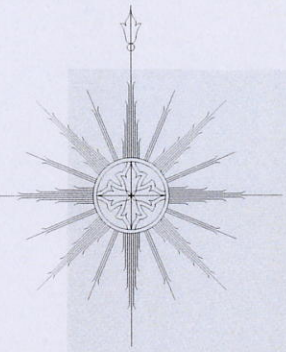


手取川水系手取川浸水想定区域図

1/60,000



手取川水系手取川浸水想定区域図

- 1 説明文
- (1) この浸水想定区域図は、手取川水系手取川の河口から上流16.7k地点までの洪水予報区間で洪水はん蓋した場合において、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を示したものです。
 - (2) この浸水想定区域図は、現在の手取川の河道整備状況、手取川ダムや大日川ダム等の洪水調節施設の状態等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、手取川がはん蓋した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。なお、降雨状況により浸水想定区域と水深が異なる場合があります。
 - (3) また、手取川沿川は地形勾配が急な扇状地であるため、はん蓋水は土砂を多く含む勢い良く住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお、下流域においては、一時的に洪水が深く溜まる場所もあります。
 - (4) この浸水想定区域図は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、現況の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所等破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の水深、最大の範囲を示したものです。
 - (5) このシミュレーションの実施に当たっては、熊田川、北川等の支派川や隣接する梯川のはん蓋、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん蓋（雨水が河川に排水できなく生じる浸水被害）等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - (6) なお、手取川左岸下流部については、隣接する洪水予報指定河川梯川のはん蓋の影響が考えられますので、別途、指定・公表される梯川浸水想定区域を参照する必要があります。
- 2 基本事項
- | | |
|-----------------|--|
| (1) 作成主体 | 国土交通省北陸地方整備局金沢工事事務所 |
| (2) 指定年月日 | 平成14年8月30日 |
| (3) 告示番号 | 国土交通省北陸地方整備局告示第80号 |
| (4) 指定の根拠法令 | 水防法（昭和24年法律第193号）第10条の4第1項 |
| (5) 対象となる洪水予報河川 | 手取川水系手取川（実施区間：左岸石川郡鳥越村字広瀬川の部10番の2地先から海まで、右岸石川郡鶴来町白山町23番地先から海まで、平成4年8月27日付付運轉省・建設省告示第2号）
手取川流域の1日間総雨量316mm |
- (6) 指定の前提となる計画降雨
(7) 関係市町村
松任市、小松市、野々市町、美川町、川北町、鶴来町、根上町、寺井町、辰口町
- (8) その他計算条件
- ① はん蓋計算は、対象区域を50m格子（計算メッシュという）に分割してこれを1単位として行っています。
 - ② 計算メッシュの地盤高は1/2,500都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
 - ③ 連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん蓋水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。
- ※「この図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。」（承認番号 平14北覆、第122号）

凡 例

	浸水した場合に想定される水深（ランク別）
	0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～5.0m未満の区域
	5.0m以上の区域
	浸水区域の指定の対象となる洪水予報河川

